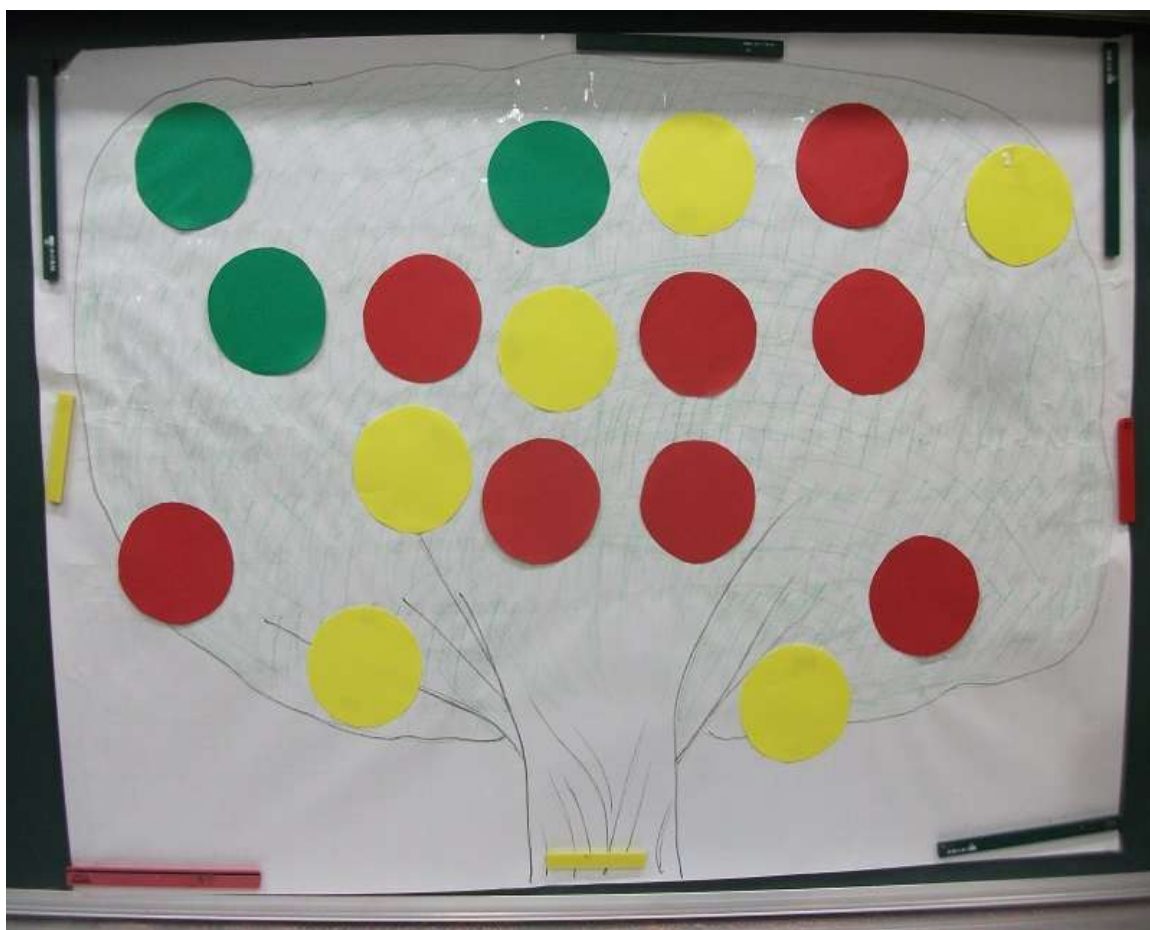


三ヶ尻小学校の5年生・6年生の外国語活動



私は、教科書の活動以外にも大切なことがたくさんあると思います。

写真は5年生の“**How many?**”の授業のものです。教科書では、20個のリンゴを好きなだけ赤く塗る活動があります。赤色にしか塗れません。そして、友達に何個リンゴを持っているかを聞き、自分と同じ数のリンゴを持っている友達の数数を数えます。金ヶ崎町の5年生には簡単すぎる活動なので、少しレベルを上げてみました。

20個のリンゴを赤や黄色、緑色にします。そうすると、“**How many apples do you have?** (リンゴを何個持っていますか?) **I have 17 apples,** (17個です)”というシンプルな会話から応用して、“**How many red apples do you have?** (赤いリンゴを何個持っていますか?) **I have 8 red apples.** (赤いリンゴは8個です。)”という会話ができるようになります。

上の写真のように大きなリンゴの木を作成し、マグネットをリンゴに見立てて、子供たちに説明をしました。A-3サイズの木と何度でもはがしたり、貼ったりできるリンゴのシールをグループごとに準備しました。その後、永岡小学校でも使用しました。(永岡小学校の様子は、11月に載せたいと思います)

このようなリンゴの木を使った理由の一つは、子供たちに実際に“**touch**(タッチ)”触れてほしかったからです。色を塗ったり、デザインをすることも素晴らしいですが、実際に、物に触れたり、動かしたりしながら学ぶのも大切です。このような学習を **Tactile Learning** (触覚的学習)と言います。特に音楽や美術で用いられています。



グループで、リンゴを選んでいきます。



児童は2つのグループに分かれて、“How many OOO apples do you have? (OOO色のリンゴをいくつ持っていますか?)” “I have ## OOO apples. (OOO色のリンゴと##個持っています。”とお友達に聞きます。

この活動は楽しみながら、質問の仕方、答え方などを学べ、正確に話せるようになりました。次の活動も少しレベルアップさせ、楽しく学べるようにしたいと思います。

6年生では、“お友達の誕生日を調べよう“のレッスンを終わったところです。

このレッスンの最後にお友達にインタビューをし、バースデーカードを作りました。児童は、自由にカードに色を塗ったり、飾りなどを付けたりできます。私が担当している2つの小学校は、ほとんどの児童が、お友達の誕生日を知っているので、少し挑戦できるような活動をしました。



机のない音楽室でカードを作るのは簡単ではありません。みんな、床など、書いたり、塗ったりできるスペースを見つけてカード作成をしています。



自分を表現するために創造力が必要になってくる授業が多くなってきます。自分ができること、出来ないこと、どこへ行きたいか、将来何になりたいかなどをお友達に伝えることができるように、これから授業を行っていきます。